



平山さんの明るく暖かい笑顔に久しぶりに会いました。震災前は、富岡町中央にお住まい、文化交流センター「学びの森」で社会教育指導員として青少年教育を担当し、小学生の「わくわくキッズ」「ニコニコキッチンズ」を実施していました。震災後は、奈良県の実家に子どもさんと2人で避難し、今年4月より3人の子どもさんと2匹のわんちゃんを暮らしています。震災の年の6月から、地元の近鉄百貨店の婦人洋品売り場で勤務し、2年になります。

富岡町では趣味としてビーズ作りやパッチワーク、お菓子作りなどを楽しんでいましたが、現在は仕事が忙しくてなかなかできません。愛犬との散歩の時間が何よりの楽しみになっているとのこと。震災前青少年教育に関わっていた立場から、子ども達への思いも一入の平山さん。「子ども達への一言」とお願いしたところ、「富岡の子ども達には大人に遠慮することなく、自分の気持ちを周りの人に吐きだし、心にためすぎないようにして欲しい。」と話してくれました。

また、町民の皆さんには、「富岡町のことを忘れずに思い続けながら、でも、富岡町に縛られることなく、一人ひとりおかれている状況が違うので、その時々で自分が決めた道を信じて前に進みましょう。」と力強く話されました。県外避難の不安や疎外感をしっかりと乗り越えて進もうとする平山さんの心意気のようなものが伝わってきました。

おらほの自治会長 このコーナーでは、仮設・借り上げの自治会長さんのお話をご紹介します。
好間仮設 自治会長 坂和 博通さん

昨年1月から、好間仮設の自治会長になった坂和さん。近隣の自治会や商店のみなさんとも、よい関係でお付き合いさせていただいて、地域の草刈りに参加したり、仮設の前の道が通学路になっているので、交代で毎朝旗当番を行ったり、積極的に地域と関わっているとのこと。

震災前は、庭木や盆栽の手入れが趣味だったという坂和さんですが「今は、玄関に植えてある花を日々手入れしたり、水やりをする程度だな」と少しぐらしきをしました。それでも、一緒にお住まいのお孫さんのお話になるとやさしいおじいちゃんのお顔になっているのが印象的でした。

「今後も皆さんのご協力をいただきながら、自治会としての行事などを企画していく、より多くの住民の皆さんに参加してほしい。」と話してくださいました。

みんなの広場**「ちぎり絵趣味の会」作品展開催中**

5月下旬から6月末まで、須賀川市の国分内科クリニック待合室「六点美術館」及び隣接の健康未来24で、ちぎり絵の作品展が開催されています。

緑ヶ丘仮設住宅で「ちぎり絵趣味の会」を開いている今年傘寿(80歳)を迎えた横田シゲ子さんと生徒12名(富岡町民の方達)の作品16点が展示しております。

須賀川駅近くなので、興味をお持ちの方は是非ご覧ください。

**富岡町生活復興支援おだがいさまセンター**

(社会福祉法人富岡町社会福祉協議会内) 場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅内)
電話 024-935-3332 FAX 024-935-3334 制作 バズ・クリエイターズ
ホームページ <http://odagaisama.info/> ツイッター <http://twitter.com/odagaisama> QRコードは[こちら](#)

**いってやっぺみでやっぺ
お知らせコーナー**

6月下旬
7月上旬

**● U-ONE MUSIC presents 福島県内ツアーvol.3
～おだがいさまセンター編～おだがいさまカラオケ大会**

日 時 7月4日(木) 13時～
場 所 おだがいさまセンター
問 合 せ TEL:024-935-3332(おだがいさまセンター)
aveさん・竹原ピストルさん・グンジケンゴさんによる演奏もございます。カラオケは観客の投票も予定しておりますので気軽に足を運んでみてください。

● 桜染め体験教室

日 時 7月3日(水) 13時30分～15時
場 所 いわき平交流サロン
参 加 料 100円(材料費)
申 込 み 先着15名
問 合 せ TEL:050-3608-2864(いわき平交流サロン)

● 語り部(民話)と共に。

日 時 7月9日(火) 10時～
場 所 いわき四倉交流サロン
問 合 せ TEL:0246-38-4355(いわき四倉交流サロン)

● 七夕(短冊に願いを書きましょう)

日 時 7月1日(月) 10時～
場 所 いわき泉玉露交流サロン
問 合 せ TEL:0246-38-4242(いわき玉露交流サロン)

● 喫茶つづじ[おだがいさまセンター]

日 時 6月 27日
7月 6日(毎回午前10時～12時)

● お茶会[南一丁目応急仮設集会所(富岡側)]

日 時 6月 29日
7月 1日、2日、6日、8日、9日
(毎回午前10時～午後1時)

めてやっぺ!**アートセラピー講習会**

6月2日(日)おだがいさまセンターにて、クリエイティブアートセラピーのワークショップが開催されました。初めに遠藤勝也町長と佐藤栄佐久前福島県知事より挨拶を頂き、講師にカリオフオルニア州公認臨床心理士の山本真奈美さん、元狂言師の安田龍雄さんを招き、「アート」そのものがもつているセラピー効果で「からだの声に耳を澄ます」という周りの人達と一緒にできる方法の紹介がありました。「アート」といっても特別なものではなく、狂言で「喜」「怒」「哀」「樂」を表現したり、紙コップや食品トレー等で簡単な楽器を制作したりといったもので、最後にはそれぞれ制作した楽器を使って歌を歌い、参加した皆さんは童心に返ってアートを楽しんでいました。

**東京の子ども達に「震災の話」をしてきました**

6月2日(日)東京都小平市立小平第六小学校で、日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会主催の「これからも忘れないよ。3.11の福島のこと～思いやりあふれる未来へ～」というシンポジウムが開かれました。

「東日本大震災ってどんな震災だったの?」「福島は宮城や岩手とどう違うの?」「今、福島では何がどうなっているの?」「富岡町や双葉郡の避難している人たちの暮らしはどうなの?」「子ども達の思いは?」といったテーマで、青木淑子アドバイザーが講演し、講演後に、参加した子ども達による「東京の私達に何ができるか」についてグループ討議が行われました。

当日は30名ほどの子ども達が集まり、「報道とはあまりに違

う現実」や「自分と同じ小学生・中学生の思い」をグループで話し合い、発表しました。「クリーンエネルギー推進会」を独自に作っているとい

う中学生のグループも居て、東京の子ども達が福島に対しても「知って」「考えて」行動していく姿に明るいものが感じられました。

**東京下代田東町会の皆さんと「震災の語り」を通して交流しました**

6月10日(月)おだがいさまセンターに、下代田東町内会の皆さん40名が訪問されました。富岡町社会福祉協議会の吉田恵子主幹が「3月11日の富岡町」の様子や「避難してからの現状」の説明をし、青木淑子アドバイザーが「被災者支援

の状況」について話し、そのあとセンターのフラダンス教室のメンバーが「世界中の子どもたち」というダンスを披露しました。過日、秋篠宮様がセンターにお成りになった時にも見ていただいたダンスですが、東町の皆さんにも大好評でした。ダンス終了後は、4つのグループに分かれて「震災の体験」や「現在の暮らし」「避難生活を送る気持ち」など、時間がたつのも忘れて話し込んでいました。短い時間ですが、すっかり親しくなった皆さんはバスに乗り込んだ東町の方達をいつまでも手を振って見送っていました。





東北大学生訪問・足湯
6月8日(土)東北大学生の学生28名が、おだがいさまセンターを訪問しました。センター職員による震災の話を、参加した学生たちは熱心に聞き、その後、喫茶つづじの中で、たくさんの住民の方たちに足湯とハンドマッサージを体験して頂きました。参加した住民の皆さんにはゆったりとしたくつろぎの空間を満喫していました。



FM便り

かぼちゃ、きゅうり、じゃがいも、ピーマン、ミニトマトの苗を植えました

メッセージ受付中!

郵便:〒963-8041 郡山市富田町字若宮前32「おだがいさまFM」宛

メール:odfm76.9@gmail.com ホームページやタブレットの掲示板からもメッセージお待ちしております!

子ども広場カリンバ体験

「カリンバって何?」という声も聞こえてきそうですが、カリンバとは両手の親指だけで弾くアフリカの弦楽器です。5月31日(金)に、おだがいさまセンターの子ども広場で、6名の子ども達が、鳥取県から来ていただいた3名の講師の方達の指導を受けながら、キットを使ってのカリンバ作りと演奏に挑戦しました。カリンバにはいろいろな種類がありますが、今回は8本弦の1オクターブのカリンバを作りました。板に金具を取り付け、針金で弦を編んでいきます。力の入れ方が難しく、コツが必要ですが、幻想的な音を奏でるにはここが肝心なところです。最後はオルガンに合わせてそれぞれが作ったカリンバを演奏し、音と心のハーモニーを楽しみました。



おだがいさま工房便り

コンロに設置された煙突のようにそびえ立つ蒸し器。実は染め作業で使うのです。草木染めした布を型抜き染めで着色抜染し、その布を蒸し器で30分間ほど蒸すことで生地に色を定着させます。染料が繊維に浸透し、輝くような色を引き立て、きめ細かく描かれた橙と黄金色の花柄模様がさらにキレイに浮かび上りました。



おだがいさまファーム通信

6月7日(金)畠隊の全体会が、おだがいさまセンターで開催されました。

平成25年度はじめての畠隊の会議で、約20人の方が集まり、自己紹介から始め、各畠ごとのリーダーを決めました。今年度の計画などについて話し合われ、今年度も情報交換会や収穫祭、作品展出展もしていくことを確認しました。夏野菜の植え付けの時期!!ぜひいつしょに畠をしましょう!ご連絡お待ちしています。(おだがいさまセンター 024-935-3332)

白アサリ貝で貝細工

6月7日(金)泉玉露交流サロンで大浦和英さんを講師に「貝細工教室」が開催されました。大浦講師が丁寧に加工した貝殻を準備して下さるので初心者でも安心。先月は北寄貝での開催でしたが、もう一周り小さい貝で作りたいと言うリクエストが多数あり、今回は「白アサリ貝」を使用して制作しました。

この教室は講師の軽妙なトークも人気。笑い声をあげつつも、手元は休めず、参加者全員美しい貝細工作品を仕上げる事が出来ました。



好間仮設AED講習会

6月5日(水)好間応急仮設住宅にて、富岡消防署の方を講師に迎えて消火器とAEDの使い方講習会が行われました。

当日は天気も良く、集会所の外で訓練用の消火器を使用し、交代しながら実際に消火の指導を受けました。また、集会所に設置してある大型の消火器についても、説明をいただきました。

その後場所を移動し、集会所の中でAEDの講習を行いました。AEDは集会所に設置されているものの、使用方法がわからないという声があり講習会が実施されました。参加者の皆さんからは、「一回利用した後はどうすればいいのか?」「ショックが必要でない」というメッセージが流れたらその後どうすればいいのか?などと積極的な質問もたくさん出ました。



簡単料理教室in四倉サロン

6月9日(日)四倉交流サロンで簡単料理教室が開催され、桜えびの炊き込みご飯と、すいとん入りスープ、小松菜のきな粉味噌和え、季節のフルーツを作りました。

桜えびのご飯が炊き上がった時、香ばしいえびの香りがしうすいピンク色のご飯ができ、参加者の皆さんから「ファーきれい」と歓声が上がりました。すいとん入りスープは小麦粉と豆腐をさせて作り、小松菜の和え物はきな粉と味噌で和え、どちらも初めての体験でした。

皆さんはベテラン主婦の方達なので、野菜を切っても混ぜても手際よく短時間ででき、終始笑顔の時間が流れました。



平サロンでアロマスプレーづくりが開かれました

6月4日(火)平交流サロンにて「アロマで手作りルームスプレーづくり」が行われました。サロン内にはさわやかな香りが広がり、参加者の楽しそうな声が響いていました。というのも、オレンジ、ラベンダー、イランイランなどのアロマから好みの香りを選ぶことができます。それにエタノールや精製水をませればできあがり。

また、スプレーのボトルには、かわいいシールやテープを自分の好きなように貼り付けます。世界で一つのアロマスプレーです。「帰ったら早速部屋にスプレーします」「次も開催してほしい」という要望があがっていました。梅雨時期には、アロマの香りに癒されること間違いなしですね!